

「ICT 教育環境の整備による子どもたちの学びの拡充」における事業報告書

1. アフタースクールにおける ICT の活用

- (1) 時期：2021 年 4 月～2022 年 3 月
- (2) 場所：マナビノキアフタースクール
- (3) 対象者：各日 10～20 名
- (4) 内容：オンライン授業、課題解決や探究型学習の実践
- (5) 事業内容詳細：

マナビノキスクールは、学校がある日は、放課後、平日 13:30～19:00、夏休みなどの長期休みには 8:30～19:00 まで開放している。1 日あたり約 10～20 名の小学生たちが通ってきている。

スクールでは、子どもたちひとりひとりが、自分の身のまわりから「知りたい！ やりたい！」を見つけ、個々で取り組む探究型学習「マイプロ」に取り組んでいる。

マイプロとは、自分のやりたいことや知りたいことについて、作ったり調べたりする自由研究型の学習である。まずは、自分でやりたいこと調べたいことなどテーマを決め、どうすればできるか、何が必要かなども自分で考え、作ったり、調べたりした後は、その動機や経過、結果などをまとめて、みんなの前で発表をするという学習方法である。

これまでは、自分の知りたいことを調べたり、作りたいものを調べたりするために、本や図鑑、スクールの PC を使用していた。また、まとめ発表の資料に使うために、実際に取り組んでいる時の活動の様子や成果物に関しては大人がスマートフォンなどで撮影し、それをプリントアウトして渡し、まとめるという方法を使っていた。

今回、助成金により iPad を 10 台購入し、スクールに設置した。その結果、子どもたちは本に加えて、iPad を積極的に活用し、調べるようになった。また、マイプロの過程での活動の様子や途中経過や成果物なども iPad を使って自分で写真を撮れるようになった。

また、これまでは紙ベースでまとめていたものを、「キーノート」というプレゼンテーションソフトを使って、まとめる様子が見られ、iPad を導入したことで、子どもたちの探究的な活動がスムーズに進められるようになった。また、参加できない子や別の場所にいる子とオンラインでつないで、発表を見せ合ったりするなどの活用もできた。

2. サマースクールワークショップ・地域親子交流会の開催

サマースクールワークショップ

- (1) 時期：7月25日・8月29日計 2 回
- (2) 場所：マナビノキアフタースクール
- (3) 対象者：小学生とその保護者、各回 5 名
- (4) 内容：地元企業カマクラビットラボによるマイクロビットを使ったワークショップ
- (5) 事業内容詳細：

夏休み 2 日間にわたって、地元企業「カマクラビットラボ」によるワークショップを行った。

今年度より、小学校でもプログラミングの授業が始まり、保護者や子どもたちもプログラミングについての興味関心が高まっている。そのような中、同じ鎌倉で親子向けのプログラミング教室を開催しているカマクラビットラボに講師を依頼し、マナビノキでも、子どもたち向けのワークショップを行った。

今回はマイクロビットというマイコンを使い、「光る剣」を制作した。ダンボールで作った剣に LED ライトを張り付け、マイクロビットからの指示で光らせるというものである。マイクロビットでは、LEDを光らせるほかにも、点滅させる、

音を出す、それを繰り返すなど様々な指令を出すことができ、そのプログラミングの方法を教わった。

後半は、それぞれ自由にプログラムを組み、自分の剣を好きなように光らせることができた。

プログラミング的思考とは、自分が意図する一連の動きを実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であり、1つ1つの動きに対応した記号をどのように組み合わせたらいいのか、記号の組み合わせをどのように改善していけばより意図した活動に近づくのかを論理的に考えていく力である。

今回のワークショップを通じて、プログラミング的思考を身に付けると共に、子どもたちがマナビノキスクールや家庭でも継続して、プログラミングに取り組むことを期待している。

地域親子交流会の開催

(1) 時期：6月27日・7月11日 10月31日、計3回

(2) 場所：マナビノキアフタースクール

(3) 対象者：小学生とその保護者、各回 10 組

(4) 内容：ICT 活用方法についての理解向上の親子学習会

(5) 事業内容詳細：

夏休みをはさんで計 3 回、午前中の時間に親子交流会を行った。教育アドバイザーの宗藤純子先生を講師に招き、スマホ時代の子どもたちへのかかわりかたや、大人ができること、家庭でのルールづくりや子どもが安心できる声かけなどについてのお話をいただいた。

また、SNSを通して起きている事件や事故についても触れ、自分の命を大切にすることや、性犯罪の恐ろしさなどについても親子で考える機会をもった。

講演の後は、親は親同士で今、子どものことで悩んでいることについて話し合う時間をもった。子どもたちは未来の自分へ手紙を書くという活動をした。

子どもたちも、インターネットは便利な反面、危険性や怖さがあることを理解したようである。また親子で同じ話を聞いたことで、家でも再度話し合える機会がもててよかったとの声が多かった。

3. 小冊子の作成・配布

(1) 時期：2021 年 12 月～2022 年 3 月

(2) 内容：ICT を活用した課題解決型、探究型プログラムについて

(3) 配布先：近隣の施設、教育施設等

(4) 部数：1,000 部

(5) 事業内容詳細

子どもたちがマナビノキアフタースクールで取り組んだ「マイプロ」について小冊子としてまとめた。マイプロのテーマのを見つけ方や、学習の進め方、また、探究型学習とはという説明と共に、具体的な子どもたちの取り組みについてまとめた。低学年、中学年、高学年ごとに実際に取り組んだマイプロについて、子どもたちが実際にまとめたものを掲載している。また、そのうちの数人は、より詳しい学びのプロセスについて解説文を添えた。

今年度のマイプロの一覧表もつくったことで、それぞれの学年の子どもたちが、どんなことに興味があり、どんなことを知りたい、やりたいと思っているかなどが、わかった。

小冊子を配布することで、探究型学習について、より多くの人にわかりやすく説明できるようになると共に、読んだ人からも探究型学習の良さについて知ることができたと好評であった。今後も 1 年ごとにまとめていきたい。